

ゴールの先にある、未来へ。

スポーツが人を育て、人をつなぐ

かがみいしスポーツクラブの設立は平成21年。
3歳から81歳まで多世代の会員で構成され、会員数は約670名にのびります。

県大会では5位だったと話す小林くん。「走るのが好きでしたが、ここに入って速くなりました」と笑顔を見せます。次の大会では優勝を目指します。



鏡石第一小学校6年
小林 礼弥くん

テニスやバドミントン、卓球、ヨガほか、英会話のサークルや教室、スポーツイベントを開催しています。定期練習を行う陸上競技は、基礎的なトレーニングほか鬼ごっこを取り入れた練習など、工夫を凝らした楽しいメニューが特徴です。「走ることはスポーツの基本です。楽しみながら体力



「やりたいことがやれる環境があり、体力に合わせます」と稲田さん。一人でも多く陸上を長く続けてほしいと、クラブの運営に力を注いでいます。



クラブマネジャー
稲田 俊一さん

をつけてほしいですね」とクラブマネジャーの稲田俊一さん。スポーツを通して子どもたちのレベルアップを図り、将来、陸上や駅伝などの分野で活躍する人材の育成に取り組むほか、総合型スポーツクラブとして、スポーツ人口の増加や地域コミュニティの促進も図っています。



次なる時代の幕開け

トラックを黙々と走る選手たち。目標は、ふくしま駅伝出場。
かがみいしスポーツクラブから、新たな力が今、生まれようとしています。



長距離の指導を受ける3人の中学生。鏡石中学校3年生の小川真花（おがわ・まなか）さんはその一人。小学3

爽やかな笑顔が印象的な小川さん。「辛いけれど、結果が出た時の達成感が、喜びに変わるんです。努力の結果を自信と経験に変え、勝利への意欲につなげています。」



る心を原動力に変え、一本のたすきに思いを込めた選手たちの走りは、数々の名シーンを生んできました。鏡石町駅伝チームは二〇二五年、町の部6位入賞。今年は優勝を目指します。（写真左から遠藤梨季さん、小川真花さん、佐藤有珠さん）



鏡石中学校3年
小川 真花さん



KAGAMIISHI SPORTS CLUB



箱根駅伝4年連続出場経験を持つ佐藤さん。子どもたちが頑張って結果を出してくれることが励みになり、地域の人と携われることがやりがいにつながっているそうです。ふくしま駅伝ではチーム監督も務めます。

かがみいしスポーツクラブ理事長
佐藤 靖弘さん